

●吉井川

私たちの住んでいる岡山県には吉井川、旭川、高梁川の3つの大きな川が流れています。吉井川は、鳥取県に近い苫田郡鏡野町の三国山から瀬戸内海までの約133kmを流れている川です。坂根堰は吉井川の河口（海）から約17kmのところにはあります。



●米作りと坂根堰

今から約300年前の江戸時代、昔の人々は海をうめたてて作った土地（干拓）で米作りを始めました。坂根堰は米作りに必要な水を川から取るために作られました。



堰は大きな石で作られていて「斜め堰」と呼ばれていました。川を斜めにせき止める事で水が集まりやすく工夫したのです。

しかし、川をせき止めるようにして作られた石の堰によって、大雨の時には川の流れを邪魔して、堤防が切れたり水があふれたりしていました。

●あたらしい坂根堰

米作りに必要な水もとれて、大雨の時には川の流れを邪魔しないようにと昭和55年に作られたのが今の坂根堰です。

坂根堰は米作りや生活に必要な水を取り込んだり、雨が少ない時には水を貯えたり、大雨の日には川から水が溢れないようにします。

今では、堰の水は米作りだけではなく、工場や飲み水など多くに利用されていて人々の生活に欠かせないものとなっています。

●大雨の日の坂根堰

坂根堰は大雨の時には、せき止めている赤いゲートを持ち上げて川の水が溢れないようにします。ゲートを持ち上げるとたくさんの水が流れていくので、川に入っている人に放送やサイレンで注意します。また、パトロールカーで見回りもしながら安全につとめています。



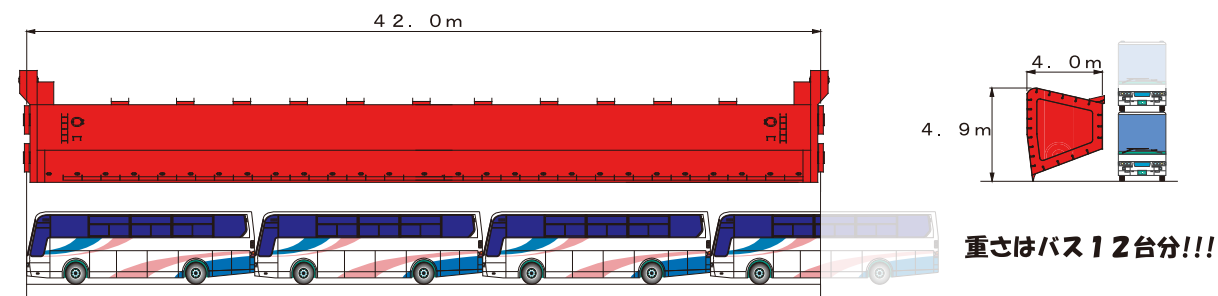
●堰の監視

坂根堰は人々の生活に深くかかわっている事から24時間・365日休まず監視をしています。皆さんが安心して暮らせるように坂根堰は今日も動いています。

坂根堰豆知識

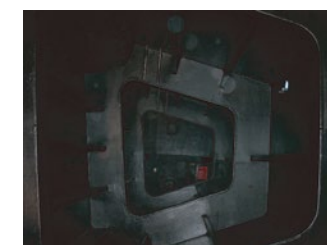
ゲートの大きさ

ゲート1門の大きさは長さ42.0m、高さ4.9m、幅4.0m、重さ180トンです。大型バスと比べると・・・



ゲートの中

ゲートの中は空洞になっていてふだんは水が入っています。ゲートを持ち上げるときには水は外に出て、ゲートが軽くなって持ち上げやすくなっています。



中はまっくら